

特集 愛飲者インタビュー

アレルギー、花粉症、虚弱体質から
健康優良高齢者に

支えはSODと ルイボスエキス濃縮粉末

福島県にお住まいの
三田静音さん(72歳)

日本
SOD
研究会報

発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川 1-15-2 B棟 2802
TEL. 03-5787-3498
協力 株式会社丹羽メディカル研究所
<http://www.niwa-medical.com>

息子さんの小児白血病、
医師だったご主人の逝去
東日本大震災、コロナ禍、
激動のシンフォニー

3年にも渡って世界中を恐怖と
混乱の中に巻き込んだコロナ禍が
5類感染症となり、ようやく従来
の日常を取り戻した2023年。
今回の愛飲者インタビューは、そ
んな締めくくりから新年にふさわ
しい、素敵な女性に登場していた
だきました。福島県にお住まいの
三田静音さんです。とにかくお美
しい。美人というだけでなく、姿
勢やたたずまいも上品でお美し
い。病院を経営され、ご主人もお
医者様と伺えば、納得でした。さ
ぞや恵まれた人生を送られていら
したのだと推察しながらのインタ
ビューでした。

案内された場所は、元クリニッ
クのビル2階、奥様が週に4日、
昼間だけオープンしているという
カフェでした。入ってすぐの壁際

の棚にはSODやルイボスエキス
濃縮粉末(以下、ルイボスエキス)、
さらにSOD研究会の会報までさ
りげなくきれいに飾られていて、
嬉しくなりました。

大きな窓からはうららかな午後
の日差しが燦々^{さんさん}と降り注ぎ、セン
スのいいシンプルなカウンターに、
余裕を持たせた椅子たち。こんなと
ころで本でもゆっくり読みたいな
と思わせる落ち着いた空間でした。
「ほっとしますね」

と言うと、



「それだけが取り柄。映えも萌えもないんです」

と今時の笑いでさらりと返される静音さん。これだけで、今日のお話は間違いなくいい時間になると確信しました。

教員免許と准看護師免許まで取得の才女

生まれも育ちも福島という静音さん。自然豊かなこの地で、野山を駆けまわって元気に過ごしていたのかと思われがちですが、子供の頃から虚弱体質だったといいます。



「アレルギー体質で、よく尋麻疹が出ていました。それと小学生の時には小児結核の一種、肺浸潤という病気にもかかったことがあり、病院には頻繁にお世話になっていた記憶があります」

治療のために薬を飲むと、すぐじんましんが出ていたそうで、当時から漠然と薬は自分には合わないと感じていたそうです。大人になっても貧血に悩まされるなど、決して健康ではありませんでした。大学も家から通える地元の学校に進学し、教員免許を取りました。「何か目的があったわけではなく、

普通の道を進んだだけでした。ところがその後出会った方々のおかげで、様々な経験や勉強をさせていただいたようなものです」

謙虚にお話しされますが、その後の出会いや周囲の期待に応えてきたのも静音さん自身です。最

初の転機は、クリニックに就職したことです。約束の2年間の間に准看護師の資格を取らないかと勧められたのです。その後、病院で実習をしながらの看護学校通いは大変だったはずですが。

「若かったんでしょね。大変だとは思わなかった。未知のことを知る喜びの方が勝っていたと思います」

これだけで静音さんのポジティブな性格がうかがえます。

准看護師というのは病院やクリニックで診療補助を行う医療従事者のこと。介護施設などでサポートを行うこともでき、その需要と活躍の幅は非常に広がっています。静音さんも資格取得後、

「学生時代の恩師と会ったんです。養護教諭を探していると言われ、教員免許と准看護師免許を持っていて私が適任だと勧められたんです。私自身が臨んだわけは子供が好きだったからです」

中学校養護学校での日々は、これまで以上に充実していて楽し

かったといえます。

結婚、出産、次男の発症 5年間の闘病生活

ご主人との出会いは、町のパン屋さん。

「私がパンを選んでいるときに、私の知り合いと一緒にお店に入ってきた男性が主人でした。もちろん面識はありませんから、知り合いと挨拶を交わして数分でお店を出てしまいました。そうしたら、後日、主人から電話がかかってきたんです。あのときパン屋にいた三田ですって」

完全にご主人の一目惚れ。当時、まだ医大生で静音さんより2歳年下でした。

「お話ししたら、すごく愉快な人で、数回のデートで、なんとなくこの人と結婚するんだろうなと思いましたがね」

ご主人が医大を卒業し、おふたりはゴールインしたのです。しか

し、それはゴールではなく波乱万丈な人生のスタートでした。

「結婚してすぐに長女を授かり、続けて長男、次男を授かり、育児に専念するため、残念ながら仕事は辞めました。そこからは大忙しの毎日でしたが、末っ子が1歳2ヶ月の時、急性白血病と診断されたのです」

小児の急性白血病は、国立がん研究センターの「がん情報サービス」HPによると、小児がんなかで最も多い病気で、血液の中にある血液細胞には、酸素を運搬する赤血球、外部から体内に侵入した細菌やウイルスなど異物の排除などを役割とする白血球、出血を止める働きをする血小板があり、骨の中にある骨髄で作られます。白血病はこのような血液をつくる過程で異常が起こり、血球ががん化した細胞(白血病細胞)となって無制限に増殖することで発症する病気です。

厚生労働省の患者調査統計に

によると、1975年以降で小児急性白血病の5年以上の生存率は、75年で23%、90年で51.6%、2010年で81.6%となっていました。

1975年という丹羽鞠負先生のご子息が同じ病気で亡くなられた(著書『白血病の息子が教えてくれた医者への心』に詳しく書かれています)頃。そして90年頃に静音さんの次男が発症。当時は2人にひとりしか助からなかった病気でした。

「約5年、入退院を繰り返しました。抗がん剤治療と副作用も繰り返してきて、口の中は口内炎だらけ。でも、当時の治療はとにかく命だけは助けるというものでしたから、次男がどんなに嫌がってもやるしかなかったんです。つらくて長い5年間でした。長女と長男もまだ小さくて、母親の愛情を求めていたのに、私はほとんど次男の病院に泊まり込みで、私の母が子供たちの面倒を見てくれてい

ました。主人も医局に入って数年のいちばん忙しい時で、家族中がいっぱいいっぱいでした」

当時、様々な人がいろいろな他の治療法や、漢方などを勧めてくれたとか。そのなかにはSODや丹羽先生の診療の話もあったといいます。

「でも、当時は新しいものを素直に受け入れる状況じゃなかった。ずいぶん後になって丹羽先生のお子さんのことやSODのことを知って、丹羽先生のお気持ちがすごく理解できました。うちも主人が医者でしたから、西洋治療にお任せするしかなかった。自分の身に降りかかって初めて、患者さんのことが分かる。これが本当の医者的心ですよ」

息子さんの病院に泊まりつきの日々。病院には家族が泊まれる設備はほとんどなく、寝心地の悪い小さな簡易ベッドだけ。食事もコンビニのお弁当で済ませるような毎日。

「私は幸い、母が子供の面倒を見てくれて、私にも食事を届けてくれて、つくづく恵まれているなと思いました。周りを見ると、泊まり込みで疲弊しているご家族がたくさんいたんです。なかには遠くからいらして、金銭的負担も大変だと。そんなときにマクドナルドハウスのことを聞いて、日本にもそういう施設があればいいのに、息子が退院できたら、そういう施設を作ってみたいと思ったんです」

マクドナルドハウスとは患者さんのご家族が安く利用できて我が家のようにくつろげる家として病院の近くにできた宿泊施設で、アメリカに誕生しました。しかし当時の日本にはまだなかったのです。(2001年に日本に誕生)なので、そんな施設を作りたいと思い続けた静音さん。いつも、いつも、誰かのためになりたいと願っている、そんな人でした。

SODを欲している体 飲みたいではなく飲まなければ いけないSOD

懸命の介護と治療のおかげで、
ご子息は奇跡的に5年後に寛解を
迎えることができました。

「脳に少し障害が残ったのですが、
普通に会話もでき、生活もできる
ようになったんです。今は息子も
36歳になり、元気に東京で自立し
ております。ありがたいですね。
実はその次男の闘病中に、口内炎
がひどく、病院の方がビタミン剤
を始めいろいろお薬をくださるの
ですが、どれもまったく効かなかっ
たんです。それで、口内炎にはビ
タミンB群がよいと聞いていたの
で、化学薬品のビタミン剤ではな
く、ナチュラルな成分でできてい
るビタミンBの錠剤を飲みやすく
砕いて飲ませたんです。したら
翌日、口内炎が半分に減っていて、
3日後にはすっかり治っていたの
です。あの頃は医学と栄養学は結

びついていなくて、医師も自然の
ものという発想は全くなかった時
代です。でも、私は、その時に人
間の身体を治す力、自己免疫力は
自然のものから作られるというこ
とを実感したんです。以来、自己
免疫について自分なりにいろいろ
勉強を始めました」

同時にマクドナルドハウスのよ
うな施設を病院の近くに作る運動
を始め、仲間を集め、募金を募り、
なんと1年後にハウスを完成させ
たのです。その行動力と熱意には
驚かされます。

そして息子さんが寛解された頃、
ご主人が医局勤めから自身のクリ
ニックを開業されたのです。それ
はご主人と医師やスタッフと共に
始めた小さなクリニックでした。
「主人は、24時間いつも患者さんの
ことを考えるような人。薬剤のこ
とに詳しく、土日はほとんど学会
の講師として全国を走り回ってい
ました。医師としてはすごく尊敬
しているのですが、経営のことと

なるとまるでダメ。やむなく私が
クリニックの経営に携わることに
なって、ボランティア活動は軌道
に乗っていたので運営から退きま
した。ひとつの目的を達成できた
ことが、クリニックの運営にもず
いぶん役に立っていました」

この10数年が彼女にとって忙し
いけれど充実した時間だったと言
えるかも知れません。

「SODとの出会いもこの頃でし
た。もうかれこれ30年くらい前に
なるのかしら。クリニックを開業
すると、薬や健康補助食品の会社
から様々なダイレクトメールが届
きます。そのなかにSODのパン
フレットがあったんです。そうい
えば息子が入院していたときに教
えていただいた事を思い出して、
資料を読んでいるうちに、これだ、
とひらめいたんです。というのも、
父親が私が48歳の時にスキルス性
胃がんで亡くなっていて、自分も
がんになりやすい体質を持って
いると感じていました。季節の変

わり目は疲れやすく、春になると
ティッシュを箱ごと持ち歩く重度
の花粉症。日焼け対策をしていて
もシミができてやすい。おまけにア
レルギーがあるから、薬を飲むと
すぐに蕁麻疹が出てしまう。漢方
薬でも湿疹が出るがあったん
です。こんな私は活性酸素を取込
みやすい体質で、活性酸素を除去
してくれるSODが必要な体なん
だと思いました。飲んでみようで
はなく、飲まなければいけないと
迷いはなかったです。きっと体が
欲していたんでしょうね」

丹羽先生曰く、ちょうど人間の体
は自身でSOD酵素を作る力が無
くなってくるのが40歳。普通の人
はその頃から私の作ったSODを
飲み始めれば大病しにくい体にな
れる。静音さんはそのタイミン
グでSODに出会ったわけです。

ご主人の死と震災 野戦病院のような日々

それは突然やつてきました。

「忘れもしない、2009年1月10日。数週間前から体調が悪いとい

キや寿司を食べ、ゲルソン療法もギブアップ。こちらの心配をよそに、亡くなる1ヶ月前まで診察をしていたんですよ」

がん(※注1)が見つかったのです。余命1年と言われ、目の前が真っ暗になったのを覚えています。主人は私より丈夫で元気な人、ましてや医者だから大丈夫と思い込んでいたんでしょうね」

ご主人が亡くなられたのは、がん発覚からちょうど9ヶ月後の9月10日、ご自身の誕生日の日でした。

1年365日のほとんどを診療や学会に費やし、飲酒も年々増えていたというご主人でした。よい先生ほど患者さんの話を良く聞いてくれて、その気持ちに寄り添ってくれるといいますが、その分、自身にかかるストレスも多かったのでしょう。

その後、悲しみも癒えぬまま、静音さんは病院の運営に奔走していました。

「とにかく、残された医師やスタッフ、患者さんのために、細く長く、病院を続けなければいけないという一心でした。幸いなことにみなさんに助けられて、なんとか続けていたんです」

健康診断はオールA評価
SODとルイボスエキスは常備薬

のでしょう。

ところが、2011年3月、東北地方を未曾有の東日本大震災が襲ったのでした。

「がん発覚から体にいいことはなんでもやろうと、いろいろ調べまし

「踏んだり蹴ったりとはこのことでした。幸いクリニックは無事でしたが、交通網や物資が届かなくて、1週間ばかり閉鎖せざるを得なかった。でも、医療機関というの

あれから間もなく13年。

た。ゲルソン療法もやりましたし、それこそSODも勧めたのですが、粉っぽいマズイからいやだといって飲んでくれなかった。そして友人たちに誘われると、ステ-

はどんなことがあっても開けておかなければいけないんです。とくに、あんなことが起こったときほど、必要なのが医療機関なんです。そう信じて医師もスタッフもすぐがんばってくださいました」

おそらく診察代が、保険証がどうのというよりも、家が流されて何も無い、そんな人たちが駆け込んできたりして、どこの病院も野戦病院と化していたことでしょう。静音さんはその真っ只中をくぐり抜けてきたのでした。

とだと思うのです」

しみじみと話され、おもむろに、ひとつのファイルを見せてくれました。それは、ここ数年の静音さんの健康診断のファイルでした。なんと、すべての数値が基準値内、オールA評価、異常なしなのです。

65歳以上の高齢者になると、ほとんどの人が何らかの異常や故障があり、あそこが痛い、しんどいと訴え、病院通いをしています。5割以上の人(75歳以上の後期高齢者は7割以上)が血圧や中性脂肪、コレステロールの薬を処方されているといえます。

「この結果は間違いなく30年飲み続けているSODと一昨年から飲み始めたルイボスエキスのおかげだと思っています。SODを飲み始めて最初に変わったのは花粉症でした。劇的ではなかったけれど、本当に少しずつ良くなっていくのが分かったのです。ルイボスエキスとルイボスティーはここ2年くらい飲んでいて、昨年から花粉症

は劇的に良くなっています。今年
の花粉症はさらにどの程度軽減さ
れるか楽しみなんです。私は、薬
に対するアレルギーがあるので、
花粉症の抗アレルギー薬なども一
切飲んでいない。だからSODと
ルイボスエキスは私の常備薬代わ
りなんです」

それでもコロナ禍のときは、ワ
クチン接種が必須な医療関係者
だったので、やむなくワクチンを
5回も摂取したそうです。案の定、
蕁麻疹や带状疱疹が出たそうです。

「おまけにコロナにも感染したん
ですよ。熱と咳が数日続いたので、
免疫力を上げるためSODとルイ
ボスエキスを大量に飲みました。
普段は1日にSOD6包、ルイボ
スエキスが1包のところ、コロナ
に感染した時はSOD12包、ルイ
ボスエキス3包を飲みました。コ
ロナの薬や咳止めなどは一切飲ん
でいません。そうしたら数日で熱
と咳が治まったんです。同じ頃、
コロナに感染した40歳の娘は1週

間以上高熱と咳が治まらなかった
んですよ。SODとルイボスエ
キス恐るべし、ですよ。私の効
果を目の当たりにして以来、娘も
SODとルイボスエキスを飲み始
めたんです」

SODとルイボスエキスのほか
にもうひとつ、最近ハマっている
のがモリンガオイルだとか。

「昨年から使い始めたのですが、こ
れも素晴らしいですね。これまで
スキンケアにいろいろな高い化
粧品を使ったりしていました。が、
しっとり感を求めるとべたつき、
潤いを求めるとすぐに乾燥すると
いった感じで、私の年齢に合うも
のがなかったんです。ところがモ
リンガオイルはべたつかず、乾燥
も防げる優れたものの。今、私の
スキンケアは化粧水とモリンガオ
イル一本だけ。他は何もしていな
いの、くすんでいた肌が白くなっ
た気がしますね。あとルイボスエ
キスのおかげか、肌のターンオー
バーが若い子みたいに28日周期く

らいに早くなったんです。だから
くすみが取れたのかもしれない。
それと筋肉痛や傷、火傷などに塗
ると、いつの間にか楽になってい
ます。このモリンガオイルは一家
に一本の価値がありますね」

健康は薬では得られない

免疫力を上げないと得られない

「私、健康管理士ですし、息子のこ
とや自分の体質などから、食べ物
の大切さは身に染みて分かってい
ました。食べ物から体は作られる
わけで、日々の食事や生活習慣は
ものすごく大事なんです。患者
さんによっては薬を処方するより
食事を改善する方が効果的だっ
たりしますよね。でも、薬がいちば
んだと思っている人も多いですね。
食事や生活習慣は大事で、病を治
すのは医者や薬ではなく、自身の
免疫力なんです」

かといって体にいいものだけし
か口にしないとか、添加物を細か

くチェックするなどという極端な
こだわりはしないそうです。自分
にできる範囲で、手に入れば無農
薬がいいけど、なければそれはそ
れでよし。たまの外食はみんなで
楽しんで何でも食べるし、お酒も
たしなむとか。

「強いてあげれば市販のソーセージ
などの加工食品はなるべく食べな
いとか、夜遅い時間には食べない
ようにするくらいです。だって、
おいしく食事をすることは、心と
体を喜ばせることですもの。神経
質にこだわる人生ってつまらない。
私にはSODとルイボスエキスが
あるから大丈夫」

SODやルイボスエキス、モリ
ンガオイルなど、ほんとうにいい
ものなのでみなさんにお勧めした
いけれど、難しさもありますよね、
とおっしゃった静音さん。確かに、
大変な病気を患っている人にはも
しかしたらとお勧めできるけれど、
健康維持のために活性酸素が云々
という話はなかなかハードルが高

いものです。

だからみんなが健康で気持ちよく過ごせるようなサロンを開かれたとか。サロンの隣室には定期的にピラティスも行っているそうです。ピラティスも免疫力を高める運動の代表格。さすがですね。

「私がそうであるように、SODやルイボスエキスは、大病ではなくてもちょっと健康に自信がない方にこそ飲んでいただきたいんですよ。それも、やはり早ければ早いほどいいと思うんです。健康は薬では買えない。自分の免疫力を上げないと戦えない。得られないんです」

そのことをみなさんに知ってもらいたいと、今回のインタビューを受けてくださいました。

ティーサロンで温かいルイボステイと、手作りの蒸しパン(米粉と玄米に味噌



で味付けをして蒸したパンをいただきます。帰日には蒸しパンと袋いっぱいのリンゴや柿、ラ・フランスもお土産にいただきました。

「福島は一年中おいしい果物がたくさんあるんですよ。みなさんは是非いらしてください」

観光大使ながら。心も体もほっこりする時間でした。ありがとうございました。そしてごちそうさまでした。

※注1

膵臓がん(国立がん研究センターがん情報サービスHPより)

膵臓がんは、多くは膵管に発生し、そのほとんどは膵がんという組織型(がんの種類)です。膵臓は、がんが発生しても小さいうちは症状が出にくく、早期の発見は簡単ではありません。進行してくると、腹痛、食欲不振、腹部膨満感(おなか張る感じ)黄疸、腰や背中痛などが起こります。その他、急に糖尿病が発症することや悪化する場合があります。膵臓がんが見つかるきっかけになることもあります。ただし、これらの症状は膵臓がん以外の理由でも起こることがあります。また、膵臓がんであっても起こらないことがあります。丹羽先生のお話によると、見つけにくく、分かった時には手遅れということが多いがんで、ステージⅣの5年以上生存率は20年前で1〜2%、現在でも8〜10%とされています。

本紙の利用に関するお願い

日本SOD研究会報は、株式会社丹羽メディカル研究所のみ利用許諾をしております。当研究会の許可なく、文章、画像の一部および全てについて、販促物利用、転載、複製、複写、転用、編集、ブログへの引用などの二次利用を固く禁じます。丹羽メディカル研究所が許可した場合はこの限りではありません。

SOD様作用食品体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒158-0094 東京都世田谷区玉川 1-15-2 B棟 2802

日本SOD研究会 宮城宛

Tel 03-5787-3498

までご一報下さい。

●SOD様作用食品とは●

丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力ぎを握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや生活習慣病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されません。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽朝負（耕三）医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをキッカケにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。開発には実に



二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの、私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は生前、土佐丹羽クリニックの院長として日々、医療の現場で、がん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたられていました。また、SODなどを始めとする論文は高い評価を得て、日本のみならず海外の学会で講演したり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送られました。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

SOD研究会からのお知らせ

いつもSOD研究会報をご覧いただきありがとうございます。

最近、特に当研究会へお問い合わせいただくことが多い内容についてお知らせ致します。「丹羽耕三博士のSOD様食品は金の笠のシールが貼られていれば、どこも同じものなのでしょうか？」というような、ご質問をよくいただきます。

その回答としましては、金の笠（管理番号付）シールは丹羽免疫研究所で分析・検定し、エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で開発当初から、厳しい品質管理のもとに伝統的な製法で造られる製品だけに貼付される信頼の証（マーク）でした。しかし、ここ数年前より丹羽先生の考えで別の工場で製造されたSOD様食品にも金の笠のシールが貼られ、販売されているものもあります。土佐清水市の工場で製造されたか、そうでないかを見比べる一つの目安が、まず金の笠シールの特徴にあります。

エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で製造されている製品シールの特徴



原寸大 横 30mm、縦 25mm

- 管理番号は6桁
※土佐清水で製造された証明の通し番号となっています。
- シール左部分に絵や記号が記載されている
※左部分の表示は製品管理の為、不定期に変わります。
- 他の工場で製造された製品と比べ、原末の味や色、粒の大きさが違う場合などがある

◆現在、丹羽療法の診察は皮膚科のみとなります。ご希望の方はご予約いたします。（※自由診療）
※診療日等に関しましては、状況により変更、休診となることもあります。予めご了承ください。

丹羽メディカル研究所 ☎ 0120(731)175